

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 2 月 6 日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---|----------|
| 社会福祉法人日吉会 | 特別養護老人ホームひまわり (ユニット型) | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | ジーコム株式会社 ① マットセンサー (SW23M2) ② ベッドセンサー (SW23BM2) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5 年 1 月 4 日 | ① 3 台 ② 3 台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒防止の為、歩行不安定な入居者様に使用しております。 使用頻度は毎日常時使用しております。 コロナ禍においても、職員の付き添い時間を軽減する等活用しています。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ベッドのすぐ下に置き、歩こうとされる際にはナースコールがなるよう設置していますので、歩行が不安定な方が歩かれてしまっても転倒されないような環境づくりが構築できます。また、転倒後であっても早期発見は可能となり、見守りにおける負担の軽減に繋がっております。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 どうしてもセンサーマットを踏んでからの対応になるため、タイムラグが生じ、既に転倒されてしまうことが十分考えられます。利用者様からの審美性を考慮し、色のバリエーションを多くし、床の色と同化させられると尚良いかと感じます。また、躓き防止の為、商品の端を重くする等あった方がいいと思います。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 / 月 3 / 日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---|----------|
| 社会福祉法人日吉会 | 特別養護老人ホームひまわり (従来型) | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | ジーコム株式会社 ① マットセンサー (SW23M2) ② ベッドセンサー (SW23BM2) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5 年 1 月 4 日 | ① 7 台 ② 3 台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒防止の為、歩行不安定な入居者様に使用しております。 使用頻度は毎日常時使用しております。 コロナ禍においても、職員の付き添い時間を軽減する等活用しています。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1 人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ベッドのすぐ下に置き、歩こうとされる際にはナースコールがなるよう設置していますので、歩行が不安定な方が歩かれてしまっても転倒されないような環境づくりが構築できます。また、転倒後であっても早期発見は可能となり、見守りにおける負担の軽減に繋がっております。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 どうしてもセンサーマットを踏んでからの対応になるため、タイムラグが生じ、既に転倒されてしまうことが十分考えられます。利用者様からの審美性を考慮し、色のバリエーションを多くし、床の色と同化させられると尚良いかと感じます。また、躓き防止の為、商品の端を重くする等あった方がいいと思います。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月15日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|----------------------------------|----------|
| 社会福祉法人 市川朝日会 | 特別養護老人ホーム サンライズ市川 | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | 離床見守りシステム 一式 マットセンサー (SW23MM) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5年 2月10日 | 20台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 離床見守りシステムを導入し、利用者の安全の確保、職員が効率的に見守りを行う事ができ、心身共に負担軽減が図れる。 特に夜間の見守りに対して活用している。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 転倒に対する作業時間（20分～30分）が短縮されている。転倒、転落のリスクが減らせている。 5件→2件 1月 利用者の危険をすばやく職員が察知できることにより、転倒、骨折の重大事故の未然防止ができる。また、そういった事故が起こりにくくなり、職員の精神的な負担の軽減に繋がっている。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 離床見守りシステムを正しく使用するよう、事前確認を行う必要がある。 間違えた使用方法をしてしまうと、リスクが大きくなってしまう。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 13日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|-----------------|-----------|
| 社会福祉法人市川朝日会 | 特別養護老人ホーム市川あさひ荘 | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | aams(アアムス)介護 | |
| | 導入台数 | |
| 令和 5年 2月 9日 | 2台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 くも膜下出血で救急搬送された利用者が余命が1, 2日との診断で家族が施設での看取りを希望された為、同日病院より受け入れ看取りケア開始となった。受け入れと同時に aams を設置した。呼吸、脈の状態がリアルタイムで観測出来、呼吸停止した際もアラームが作動し、いち早く異変を察知出来、主治医や家族への連絡を速やかに行う事が出来た。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり) [導入前: ① 180 ② 6 ③ 30] [導入後: ① 180 ② 6 ③ 30] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 これまで看取りケアを行った際は職員が都度バイタル測定を行っており、四肢の冷感や浮腫等により測定出来ない事が多かった。aams 介護の導入により常時パソコンのモニターで呼吸、脈が把握できるので巡視していない時の職員の精神的不安がかなり軽減出来た。また、状況に変化があった際、早めに察知し、主治医や家族へいち早く連絡出来たという点でも大きい効果を実感する事が出来た。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 モニターに頼りすぎると微細な変化に気づけない可能性があるのでこまめな巡視の必要性は職員へ周知していく必要がある。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月29日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---------------------------------------|-----------|
| 社会福祉法人 慶美会 | 特別養護老人ホーム サンクレール谷津 (ユニット 型) | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | 見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年2月22日 | 8台 | |
| 【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ・機器導入後、看取り介護を行っている入居者のベッドを中心に設置。睡眠状態、起居・離床状態、呼吸数、心拍数をリアルタイムで把握できている。健康状態のモニタリングに効果を上げつつ、起居・離床状態の確認により、早めに訪室して観察することで転倒防止に努めている。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 夜間等目配りが行き届きづらい時間帯においても、設定した基準値 (心拍数・呼吸数等) を下回る (上回る) と職員が持つ端末にアラートされるため、状態変化にいち早く気づき適切な対応に繋げることができております。また、覚醒していることを確認した上で排泄等のケアに入ることができているため、入居者の睡眠を妨げず、良質な睡眠確保に繋がっております。入居者にとっても寝ているところを排泄介助で起こされることが無くなり、夜間不穏状態になることが無くなりました。 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前: ①168分/日②1人/日③31日〕〔導入後: ①112分/日②1人/日③31日〕 介護時間の短縮につきましては、夜間の巡回において、見守り機器の確認にて「睡眠・呼吸・心拍」に異常がないことが確認できている入居者については、巡回を毎時ではなく2時間おきに変えて職員の巡回にかかる時間短縮に繋げております (①参照)。転倒回数の削減については、具体的な回数はまだ把握できておりませんが、入居者が起居・離床された際に、機器のおかげで職員が早めに対応できた事例は数多くございます。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ・入居者が起居・離床状態の際にも職員の端末にアラートされますが、若干タイムラグがあり、職員が訪室した際には既に居室の入り口まで歩かれていることがあります。もう少しレスポンス良くアラートが届くとありがたいと感じました。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月16日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|---|--------|
| 医療法人川崎病院 | 介護老人保健施設泉水ガーデンホーム | 老人保健施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| ① 見守り ② 見守り機器導入に伴う通信環境整備 | ① aams.介護ナースコール接続セット B018-AAMSKS ② WiFi ルーターの設置 (商品名:AT-TQm1402) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5年 1月19日 | 2台 | |
| 【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 3名に使用した。その状況は、インシデント (ベッドからのずり落ち等) 回数が A様 R4年12月6件R5年1月8件 → 2月2件に減少(2/8~2/18使用) B様 R4年12月3件R5年1月5件 → 2月2件に減少(2/8~3/15使用) C様 R5年1月2件2月2件ですが、ロボット導入後は0件となる。 (2/19~3/15使用) | | |
| 【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前:①960分/日②6人/日③31日/月〕〔導入後:①360分/日②3人/日③31日/月〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ベッドからのずり落ち等発生時、アラーム及び画像にて状態確認がすぐできるので、体動の激しい入所者に対して確認に行く回数も減り、またその後のベッドからの転落等の事故もなく、効果を感じている。 できれば、もう少し設置数を増やして実施してみたいとの意見もあるが、当面、このロボットを使いこなし、状況を試みる。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・見守りリストでは、画面上、浅い眠りになっているが、対象者を確認すると覚醒しており、布団を床におとしていることもあり、100%表示どうりではないこともある ・本体スイッチの切替えをすることがあるが、入れ忘れをしてしまう人為ミスもあり、使いこなしに少し時間が必要かと思えます。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 2 月 22 日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|----------------------------|--------------------------------|
| 社会福祉法人茶ノ木台くらぶ | 地域密着型特別養護老人ホーム茶ノ木台くらぶ | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | 眠りSCAN NN-1520 (パラマウントベッド) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | 眠りSCAN ¥120,000 × 2 = ¥240,000 |
| 令和 5 年 2 月 3 日 | 2 台 | 無線LAN工事 ¥2,290,000 |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・転倒のリスクが高い方や認知症の利用者様へ設置しています。 ・PCにて睡眠状況の確認と離床時の呼び出しで使用している。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①5分 ②一人 ③毎日〕〔導入後：①5分 ②一人 ③毎日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 眠りスキャンを導入した事により、心拍・呼吸をモニター上で把握・記録する事が出来る。モニターで睡眠状態の確認が行えるため、利用者様の状況や変化を把握し細かな対応が可能となりました。異常時にもアラート設定が可能な為、見守りの強化となりました。睡眠の質を把握する事により睡眠時間や支援の時間帯を考慮することができます。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 導入してから特に不都合はありません。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 1月 24日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---|----------|
| 社会福祉法人陽光会 | 特別養護老人ホーム東松戸ヒルズ | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | ① コールマット・コードレス HC-R ② ベットコール・コードレス BC-RN | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年1月12日 | ①1台②1台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 歩行・立位が不安定な入居者に使用している。 夜間帯等の見守りが不十分な時間帯において、重要な役割を果たし、転倒転落の事故防止に役立っている。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①300分② 3 ③ 30〕〔導入後：①280分② 3 ③ 30〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 転倒転落リスクのある入居者の自発行動にいち早く気付くことが出来、介護職員の緊張の緩和や過度な巡回が不要になり、役立っていると感じられる。 また、入居者も介護職員の早い介入により、ストレスが溜まりづらく、安眠に繋がっていると感じられる。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 今の所、不都合なく使用出来ている。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 27日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---------------|-----------|
| 社会福祉法人 孝明会 | 特別養護老人ホーム 昌晴園 | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | コールマット・コードレス | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5年 1月 11日 | 3台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 <ul style="list-style-type: none">・認知症がある利用者さんが、日中夜を問わずにWCに行こうと歩行すると転倒の危険性があるが、コールマットを使用することで居室対応が可能となり、スムーズにトイレ介助等が行えるようになった。・常に見守りの必要な夜間起きる時間が不確定な利用者さんが、居室での対応が可能となり、本人も良く休まっている。・ロボットの反応で、居室に速やかに行くことによって、本人の訴え等を聞き、それに応じた適切な介護が実施できるようになった。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①約240分② 4 ③ 31日〕〔導入後：①約80分② 4 ③ 31日〕</p> <ul style="list-style-type: none">・転倒のリスクが減少するとともに、転倒事故の発生件数が、11月 6件、12月 7件 ロボット使用後の1月 3件、2月 1件 と確実に発生件数も減少した。・ロボットの反応で、トイレ介助等が行え、失禁等を防ぐ事ができらうになった。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 <p>特にありません。</p> | | |

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 2 月 27 日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|------------------------------|-----------|
| 社会福祉法人創誠会 | 特別養護老人ホームあかり 従来型 | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 入浴支援 | ウェルスリフトキャリー WLC-200 標準セット | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5 年 1 月 27 日 | 1 台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 使用する業務：従来多床型入居者の入浴支援（対象者 20/40 名） 使用頻度：6 日間/週 9:30～11:30 13:30～16:00 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1 人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①330 分/日②5 人/日③28 日〕〔導入後：①270 分/日②4 人/日③27 日〕 導入前は、標準浴槽での入浴対象者がおらず活用が出来ていなかった。そのため、適切な入浴機器の選定ができず、作業時間の増大・職員の身体負担へと繋がっていた。 導入後は、個別入浴（アビット）とリフトキャリーを併用稼働することで、入居者の ADL に合わせた機器での支援が可能となり、介護時間の短縮、職員・入居者ともに身体負担の軽減へ繋げることが出来た。 職員からも、導入をしたことで、作業効率がよくなり、今まで入浴支援に要していた時間を他のケアに充てることのできるなどの意見が挙がるなど好評な様子であった。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 利用者の乗車した状態での、リフトチェアの移動動作が重く感じることもある。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月12日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|--------------------------------|----------|
| 医療法人社団 豊寿会 | 介護老人保健施設 なつみの郷 | 介護老人保健施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | コールマットコードレス HC-R(MSR4-1200) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年2月 日 | 5台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・認知機能の低下した利用者で、ナースコールの認識ができず、必要時にナースコールを押してスタッフを呼ぶことができない方のベッドサイドに設置し、ベッドからの転落や立ち上がった際のふらつきによる転倒防止のために利用している。 ・一人の移動に危険が伴う利用者の動き出しや居室に戻ったことを把握するために居室の入り口に設置して利用している。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①30-60分/日 ②2-3人/日 ③毎日〕〔導入後：①20分程度/日 ②1人 ③毎日〕 利用者がベッドから足を下す際にセンサーで感知できるため、利用者の要望をキャッチし、スタッフが対応することにより、転落の事故防止、立位不安定の方の転倒事故防止に効果を発揮している。 また夜間帯においては、転倒リスクの高い認知機能の低下がみられる利用者により、居室の状態確認の回数を減らすことができている。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 コードレスなので利用者の歩行の妨げにもならず、設置場所を選ばない為、利用適用が広い。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 4月 2日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---------------------------------------|-------------|
| 社会福祉法人八千代美香会 | 小規模多機能ホームアゼリア ガーデン | 小規模多機能型居宅介護 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り機器 | Aams.介護センサーマット AXIS 製ネットワークカメラ音声なし | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5年 2月 17日 | 5台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 小規模多機能を利用しているお年寄りの中では、常に見守りが必要な方や日中に傾眠状態の方がいます。ベッドに横に臥床中には見守りセンサーを常に使用する事により、本人の睡眠等の状況が分かり、安心できる環境で過ごす事ができる。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 15分 ② 5人 ③ 〕 〔導入後：① 1分 ② 5人 ③ 〕 15 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・認知症を患っている入居者が多く、ナースコール等で呼ぶ行為が出来ない利用者が増えている中、昼夜を問わず業務時に睡眠状況だけでなく心拍数や覚醒・起き上がり・離床の状況が分かるので、合理的な見守り方になり、時間等の介護に関わる負担の軽減とベッドからの転落・転倒の事故予防に繋がっており、システムを導入する前に比べて転倒事故が数段に減っています。 また、今までの事故予防の為に体動が激しい入居者は何度も見守りの為に訪室をしていましたが、システムの導入によりアラートが鳴った際にカメラで確認する事で、訪室の頻度も減り、介護者の負担軽減にも繋がっている事と、日中に傾眠状態だった方が、改めて夜間にきちんと眠っていない事が分かり、Dr との連携などに繋がる事がで | | |

きました。

業務の改善だけでなく、見守りの為に訪室する事で今までお年寄りが夜間起きてしまっていたが、見守りセンサーを導入する事で訪室する機会が減り、夜間は安眠へと繋がっています。

【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・離床中にアラートが鳴ったので訪室してみると、すでにホールに居たりと誤作動が何度かありました。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年4月12日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---|----------|
| 社会福祉法人 和習会 | 特別養護老人ホーム 習志野台みゆき苑 | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | エスパシアシリーズ KA-N1481F エスパシアシリーズ KA-N1421F ナースコール中継ユニット NU-18-G0 | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年3月30日 | 14台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入済みの見守りセンサーと連携可能なため、起き上がりセンサー等と同等の役割として毎日使用している。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①65分 ②20人 ③30日〕〔導入後：①45分 ②20人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 既存のセンサーと違う点として入所者ごとの特徴に合わせてセンサーの設定を変更することが可能となった点が挙げられる。この設定機能を活用することで、同時に複数のセンサーが鳴った場合もセンサーの鳴り分けによって優先順位をつけて効率的に対応することが可能となり、未然に転倒事故を防ぐことができたケースもあった。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 特になし | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年4月12日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|--|----------|
| 社会福祉法人 和習会 | 短期入所生活介護事業所 習志野台みゆき苑 | 老人短期入所施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | エスパシアシリーズ KA-N1421F ナースコール中継ユニット NU-18-G0 | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年3月30日 | 1台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 導入済みの見守りセンサーと連携可能なため、起き上がりセンサー等と同等の役割として毎日使用している。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①65分 ②20人 ③30日〕〔導入後：①45分 ②20人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 既存のセンサーと違う点として入所者ごとの特徴に合わせてセンサーの設定を変更することが可能となった点が挙げられる。この設定機能を活用することで、同時に複数のセンサーが鳴った場合もセンサーの鳴り分けによって優先順位をつけて効率的に対応することが可能となり、未然に転倒事故を防ぐことができたケースもあった。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 特になし | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 3月 1日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|--------------------------|----------|
| 社会福祉法人清規会 | 特別養護老人ホーム季美の森 (ユニット型) | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | 眠りスキャン NN-1520 | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5年 1月 17日 | 10台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・認知症や転倒リスクの高い利用者に設置し、起き上がりの時にアラーム音とパソコン上でポップアップするように設定。夜間の人員が少ない時間帯をカバーし、迅速に訪室ができるようになった。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①120分②5人③30日〕〔導入後：①60分②5人③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等を活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・入眠中の体調変化や睡眠状況をモニターで観察できるため、訪室やおむつ交換のタイミングが図れるため、入居者や職員の負担軽減となる。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・まだ導入して間もないため、特に不都合な点は見受けられないが、アラーム音とパソコン上のポップアップが少し遅れる感じがする。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 4月 7日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|------------------------|----------|
| 医療法人社団福聚会 | 福聚苑老人保健施設 | 介護老人保健施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | ハルカプラス Care 愛起き上がりセンサー | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5年 3月 1日 | 4台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 <ul style="list-style-type: none">・ 主に夜間帯にナースコールを押せない転倒リスクが高い入所者の方が起き上がりの時点でセンサーによりコールを鳴らす事で職員が駆け付けて転倒の予防を行う。・ 3月末時点で対象者は2名となっており夜間帯にて転倒の防止に結びついている。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 <ul style="list-style-type: none">・ 今までは過去の動きのデーターにより巡視して確認するしかなく何度も確認が必要であり、他の入所者への影響も懸念されたが、コールが鳴る事により優先的に駆け付けられるようになり、転倒する事を防げた事や、排泄介助にも当たれるようになった。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 <ul style="list-style-type: none">・ コールを鳴らす事はできるが、こちらからの声を伝える事が出来ない点・ 結局は駆け付けるまで状況が把握できない点 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5年 2月 22日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|-----------------------|-------------|
| 株式会社 学研ココファン | グループホームココファン柏 豊四季台 | 認知対応型共同生活介護 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り機器 | あんしんひつじα | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和 5年 2月 15日 | 1台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 主に夜間帯使用し、定期巡回以外は、センサー反応時に行くことで、職員の業務負担軽減が出来ている。 また、きちんと睡眠がとれているかの計測ができています。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①1時間 ②2名 ③30日〕〔導入後：①30分 ②1名 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 見守り機器の導入により、夜間帯の不必要な巡回をせず、職員の休憩時間を平均2時間確保できた。 介護職員の業務軽減ができていますので、職員の満足度は上がっています。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 誤作動によるコールが鳴ってしまう事もあり、適切な使用タイミングがまだ図れていない。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月31日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---------------------------------------|-----------|
| 社会福祉法人同仁会 | 特別養護老人ホームしおかぜ南 | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | ①見守り介護ロボット ams.介護セット一式 ②Wi-Fi 設置工事 | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年3月24日 | 2台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 看取り対応入所者様2名に使用。日中もベッドで過ごすことが多い為、ほぼ1日中稼働している。血圧の変化や心拍数などをユニットリビング内PCにて確認している。睡眠時の状態や、体動の様子などをデータと実際訪室で照らし合わせて、入所者様個人に沿った見守りとして活用している。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり) 〔導入前：①70 ②2 ③31〕〔導入後：①7 ②1 ③31〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 看取りの方へは日中、夜間共に訪室・バイタル測定を頻回に行っていたが、通常の巡回回数へ変更することができた。アラームで知らせてくれるという安心感と、数値の記録も残っている為、看護師・介護職員間の情報共有も行きやすくなった。 今後離床、睡眠状態把握などへの活用ができれば新規入所の利用者様へより良い介護に繋がると思う。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 入所者様の体格、体動有無などを考慮して個別に設定をする必要がある為、ロボットの性能を十分に活用するためには職員への教育、研修が継続的に必要である。 センサーが反応した際も、まだ職員が慣れていないため、どのような対応をして良いのか慌ててしまう場面も多くみられた。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年3月31日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|---|---------------------------------------|--------------------|
| 社会福祉法人同仁会 | 特別養護老人ホームしおかぜ | 地域密着型 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | ①見守り介護ロボット ams.介護セット一式 ②Wi-Fi 設置工事 | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年3月24日 | 1台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 99歳入所者様へ使用中。血圧低下などが見られており、バイタル体調管理に特段の注意が必要であるが、個室での夜間帯に呼吸や心拍異常をナースコールで知らせてくれるため、通常巡回とセンサー反応時に訪室し確認をしている。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①30 ②2 ③31〕〔導入後：①5 ②1 ③31〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 巡回時以外にもモニターで入所者様の状況を常時確認することができ、測定値などの記録も残っている為、看護職員・介護職員の入所者様状態周知がしやすくなった。夜間帯、他の入所者様個室対応時にもセンサーが反応してくれるという安心感がある為、焦らず介護を行うことができている。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 センサー設置位置の調節、アラートの設定などが難しく、センサーの反応が頻回になりすぎてしまっている。メーカーによる勉強会などをしっかりと継続して行っていく必要がある。機械が苦手な職員も多い為、わかりやすい手順書なども施設独自に用意する必要がある。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和5年4月9日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|-----------------------|-----------|
| 社会福祉法人 友和会 | 介護老人福祉施設 コストリゾン千壽苑 | 特別養護老人ホーム |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | 見守りライフ (TM-100) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 令和5年 2月 8日 | 5台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・今までに何度も居室内で転倒されている方のリスク回避のために、ナースコール連動して、すぐに対応がとれるように使用。（職員の精神的負担軽減） ・夜間の睡眠状況に問題のある方において、睡眠状況や呼吸状態、ベッド上での動き等の確認（訪室回数軽減。常にPC上で確認が可能） ・寝たきりの方の体重測定（車椅子への離床介助軽減） ・看取り対応者の呼吸状態の目安に使用（訪室回数の軽減） | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①60分 ②4人 ③30日〕〔導入後：①60分 ②4人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・終日、ベッド上にいれば、ご入居者の動きがPC上で常時確認することができるため、特に夜間帯においては、睡眠状況等を確認することで、業務配分がやりやすくなっている。ご入居者の動きに合わせてセンサーが反応し、ナースコールで対応できるため、無駄な訪室は軽減できている。さらには、転倒や転落回避ができるため、職員の精神的負担は軽減。 | | |

【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・設定の仕方やご入居者の動き方によっては、何度もナースコールがなり続けてしまうことがあるため、その時は、職員が必ず目視しに行くため、結果負担が増してしまうことがある。
- ・トイレ頻回なご入居者については、不向きな場合がある。